

ビオトープだより第44号

会員・BAより ビオトープに関する情報を提供します。

特定非営利活動法人
日本ビオトープ協会
<https://www.biotope.gr.jp/>

1. 「大槌町郷土財活用湧水エリアビオトープ」ミズアオイ見学会 報告

協会員・三陸自然学校大槌代表 臼澤 良一

昨年ビオトープ顕彰で受賞した「湧水エリアのミズアオイビオトープ」の継続的管理として、春先の生育池の攪乱作業と共に、生育状況確認の為に観察会を開花時期に合わせて毎年実施してきています。この事で地域に根差した活動として、多様な多くの理解者を増やしてゆく事も肝要であるとの思いでいます。今回もビオトープ協会顧問 平塚明先生を仙台よりお招きしてご講演を頂きました。また平塚先生の共同研究者である福島大学共生システム理工学類准教授の兼子伸吾先生と大学院生も駆けつけて下さり、研究の中からミズアオイの生態に興味深い全く新しい所見が示されました。(近々学会発表の予定)

1. 開催日

2024年8月24日(土) 10:00~12:00

2. 参加人数

ミズアオイの池をみんなで守る会 21名

(参加メンバー)

大槌町民	5名
三陸自然学校大槌	1名
かまいし環境ネットワーク	3名
大槌町町教育委員会	3名
環境省大船渡管理官事務所	1名
NPO 法人環境パートナーシップいわて	1名
NPO 法人日本ビオトープ協会	2名
花巻ハヤチネプロ	1名
岩手県立大学	1名
福島大学	2名
大阪府民	1名

3. 見学写真



岩手県立大学島田先生から、湧水エリアにて、ミズアオイの生態についてご説明いただいた。

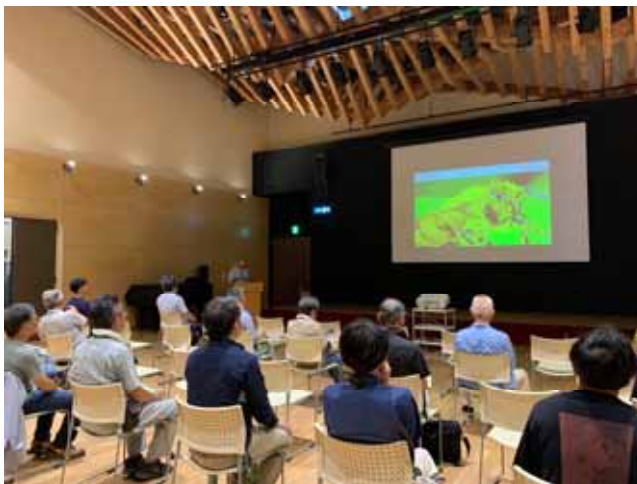


木道の上から、特殊な構造を持つミズアオイの花を観察し、一層興味深く見物できた。



春先に十分な攪乱作業を行ったのが功を奏し、花の数も多い。

4. ミズアオイ講演会



平塚明先生から、大槌のミズアオイの特徴や、DNA の分析結果についてご講演いただいた。

福島大学の兼子伸吾先生からは、ミズアオイの生活史などについてご講演いただいた。

5. まとめ

- 今年は池の底に芽が出る時期、葉が出る時期、開花時期が10日ほど遅かったのが心配したが、見学会には見頃になったので安心した。
- 昨年よりも開花本数や範囲が広がった。これは、春先に十分な攪乱作業を行ったのが要因と思われる。
- 講師先生方から「大槌のミズアオイは大槌だけのかげがえのない植物」とのお話があり、保護活動の重要性を再認識した。

以上